

平成29年度 第3回いわき市社会福祉審議会児童福祉専門分科会
(子ども・子育て会議) 議事録

1 開催日時

平成29年7月21日(金) 午後3時から午後6時

2 開催場所

いわき市役所本庁舎第3会議室

3 出席者

(1) 児童福祉専門分科会委員(15名のうち12名出席) ※五十音順

飯島美和委員、猪狩利江委員、伊藤順朗委員、草野祐香利委員、櫛田祐子委員、
強口暢子委員(会長)、菅波香織委員、鈴木潤委員、長野幸子委員、新妻英昭委員、
平澤妙子委員、宮内隆光委員

(2) 事務局(14名)

こどもみらい部: 本田部長、山田次長兼総合調整担当

こどもみらい課: 藁谷課長、野田統括主幹兼課長補佐、木田主幹兼課長補佐、根本主
任主査兼企画係長、川嶋主査、吉田主査、植木主事

こども支援課: 志賀課長、中村主幹兼課長補佐

こども家庭課: 武山課長、小泉課長補佐

平地区保健福祉センター: 飯塚保健技師兼係長

4 議事

(1) いわきネウボラについて

① いわきネウボラの開所式及びキックオフイベントの実施報告について(報告)【資料1】

② いわきネウボラの経過報告について(報告)【資料2】

③ いわきネウボラの推進に係る(仮称)地域協議会の考え方について(協議)【資料3】

(2) 幼稚園型認定こども園への移行に係る確認について(協議)【資料4】

(3) 子ども・子育て支援事業計画の確保方策等について(協議)【資料5】

(4) 待機児童数(4月1日現在)について(報告)【資料6】

(5) いのちを育む教育推進事業の中間報告について(報告)【資料7】

(6) いわきっ子入学支援(保幼小連携)システムの中間報告について(報告)【資料8】

(7) 4月1日付けで認可した施設の利用状況について(その他)【資料9】

5 その他

(1) 会議の成立

事務局より、委員15名中12名が出席しており、いわき市社会福祉審議会条例第5条第3項の規定による半数以上の出席があり、会議が成立していることを報告した。

(2) 会議開催形式

本日の会議を公開することについて、情報公開等の観点から特に支障が生じる事由がないことを確認した。

議事録の作成については、議事に直接関係する発言又は説明内容のみを記録し、委員名を記録しない「要点筆記方式」で作成することとした。

(3) 議事署名人

会長の指名により、飯島美和委員、櫛田祐子委員の2名を選出した。

(4) 傍聴人

1人

6 発言内容

(1) いわきネウボラについて

① いわきネウボラの開所式及びキックオフイベントの実施報告について(報告)【資料1】

発言者	発言内容
会長	いわきネウボラの開所式及びキックオフイベントの実施報告について、事務局からの説明を求める。
事務局	資料1に基づき説明(こどもみらい課長)
会長	皆さんの方からご意見等あれば伺いたい。 特にないようなので、次に進みたい。

② いわきネウボラの経過報告について(報告)【資料2】

発言者	発言内容
会長	いわきネウボラの経過報告について、事務局からの説明を求める。
事務局	資料2に基づき説明(飯塚保健技師兼係長、根本主任主査兼企画係長)
会長	「応援プラン」とは、どのようなものなのか。
事務局	これまでは、妊娠期・出産期・子育て期にわたる制度の内容や体に関する助言・指導などについては、母子健康手帳を交付する際に、妊婦さんの状況をお尋ねしながら、口頭で行ってきたところである。 「応援プラン」は、妊婦さん自らが、妊娠期、出産期、子育て期において、妊婦健診や予防接種などの各種制度、相談窓口などを確認できるシートとなっており、個人ごとに一枚ずつ作成させていただき、窓口で配布しているものである。

D委員	母子健康手帳を交付するときニーズ把握を行うとのことであるが、その後については、どの時期に、ニーズの変化を把握し、フォローを行っていくのか。
事務局	<p>出産後の早い段階から、育児の不安や産まれた子どものサポートが必要かどうかを把握しておくことが重要と考えている。</p> <p>例えば、平地区であれば、出生届と同時に出産通知書を提出いただいているが、この通知書は、出産の状況をお知らせいただく連絡票にもなっているので、おおよその状況を把握することができる。</p> <p>また、応援プランの内容の変更については、4か月・10か月健診などを節目としながら状況を把握し、随時、応援プランに盛り込んでいきたい。</p>
D委員	今回、産後の1ヶ月健診も市で行うようになり、そこには「産後うつ」のスクリーニングも含まれていると思うが、市が出産通知書を受け取ってから、「いわきっ子健やか訪問」につなぐ間までなど、今後、どのように産後ケアと連動していくのか。
事務局	産後の1ヶ月健診や「いわきっ子健やか訪問」で「産後うつ」のスクリーニングを実施しているが、相手にとっては、タイムリーに必要な時にしっかり行えるスクリーニングである必要があるため、今後、さらに早期の段階からの実施の必要性についても考えていきたい。
I委員	困っている方が、自ら進んで窓口へ行き相談するという事は、相当ハードルが高いと考えられるが、幼稚園や保育所でも相談会を開催しているので、これらの場所に積極的に出向いていただいて、誰でも気軽に相談できる環境を作ってもらいたい。
会長	<p>その他、皆さんの方からご意見等あれば伺いたい。</p> <p>特にないようなので、次に進みたい。</p>

③ いわきネウボラの推進に係る(仮称)地域協議会の考え方について(協議)【資料3】

発言者	発言内容
会長	いわきネウボラの推進に係る(仮称)地域協議会の考え方について、事務局からの説明を求める。
事務局	資料3に基づき説明(こどもみらい課長)

C委員	<p>ネウボラを進めるに当たり、どのくらいの子どもの数、相談される方を想定して始めたものなのか。市では、毎年、約2,500人の子どもが産まれているが、その子一人ひとりに対応できるような制度としてもらいたい。</p> <p>また、本当にケアの必要な方の中には、相談に行けない方や、制度を知らない方も多くいると思うので、市では、そのような方々へのケアもしっかり行って欲しい。</p>
D委員	<p>この地域協議会については、いつ頃、立ち上げる予定なのか。</p>
事務局	<p>現在、各地区の区長さんや民生委員協議会の方へ機会を捉えてネウボラの普及・啓発のため説明をさせていただいている。</p> <p>今後、いわき市地域包括ケア推進会議（全体会議）が開催される予定なので、全体の場でも説明させていただく。</p> <p>中地域については、随時、各地区で会議が開催されており、まずは、ネウボラの普及・啓発から入り、今後、高齢者の方と交わっていきたいという話で進めてまいりたい。このため、いつ地域協議会が設置できるかというのは、その地区のケア会議の方との合意の上で決まってくるものと考えている。</p>
D委員	<p>妊娠期は、医療機関との連携をしっかりと行わないと、これまでと同じような支援となってしまうが、今後の連携をどのように考えているのか。また、児童福祉専門分科会には医療機関の関係者が含まれているが、産科の委員が含まれていないが、どのようにお考えか。</p>
会長	<p>ネウボラの体制づくりを進めながら、今後、NPOや病院、子育て団体もあるが、今後、どのように有機的に結び付けていくか、本分科会の中で検討しても良いし、一方で、その下部組織のようなものを設置して検討していくかについても考えないといけない。</p>
C委員	<p>ネウボラについては、お子さんが多いとか、周りに子どもを預けられる環境の無いお母さん方は、相談の窓口へ足を運べない状況になると思うので、子どもを預かりながら相談できるサポートもあった方が良いでしょう。</p>
G委員	<p>間口を広げるのは良いが、対象が明確に決まっていないため、普通の育児熱心の方々から、困っている方々や貧困の方々まで全て一緒になっていて、その対応は、ある程度分けないといけない。また、地域の資源は、今、バラバラに動いていると思うが、子どもに関して、つなげていくことはできるのか。</p>

事務局	<p>ネウボラは、厳しい家庭の方も含めて、そのような方々にどのような支援を行っていくかというテーマもある。</p> <p>厳しい家庭の場合は、より詳細にお話を伺いながら、その家庭に合った支援をしていく。その際には、親子健康手帳の交付の際、必要と判断されれば、再度訪問や電話をかけるなどして、相談できる形にしていきたい。</p> <p>また、地域の資源については、母子保健コンシェルジュや子育てコンシェルジュが様々な情報を持っているので、その情報を繋いでいく仕組みを考えていきたい。</p>
A委員	<p>応援プランは、妊娠期から出産期までのお母さん主体というイメージが強い感じがあり、出産後から保育所や幼稚園に行くまでの間というのは、地域での交流の場も少なく、お母さんも孤立しやすいと思うので、その点もしっかり検討してもらいたい。</p>
会長	<p>その他、何か意見・質問があれば発言願いたい。</p> <p>特にないようなので、当該案件について了とし、次に進みます。</p>

(2) 幼稚園型認定こども園への移行に係る確認について(協議)【資料4】

発言者	発言内容
会長	<p>幼稚園型認定こども園への移行に係る確認について、事務局からの説明を求める。</p>
事務局	<p>資料4に基づき説明(こどもみらい課長)</p>
K委員	<p>幼稚園型認定こども園へ移行する場合、いわき市が利用定員を定めて確認を行うこととなるが、認可・指導監査は県が行うこととなる。</p> <p>このため、利用者負担額の上乗せ徴収などについて、今後の運営状況の中ではなかなか把握できないと思うので、今回の確認時での把握に努めてほしい。</p>
会長	<p>その他、何か意見・質問があれば発言願いたい。</p> <p>特にないようなので、当該案件について了とし、次に進みます。</p>

(3) 子ども・子育て支援事業計画の確保方策等について(協議)【資料5】

発言者	発言内容
会長	子ども・子育て支援事業計画の確保方策等について、事務局からの説明を求める。
事務局	資料5に基づき説明(こどもみらい課長)
会長	計画自体については、いつ見直しを行うのか。
事務局	<p>現行の「子ども・子育て支援事業計画」は、平成31年度までの計画期間となっておりますが、必要に応じ、適宜、見直しを図りながら進めている。</p> <p>次期計画については、平成32年度からとなるので、平成30年度から準備を始める予定であり、別途、児童福祉専門分科会の中で議論していただくこととなる。</p>
会長	<p>その他、何か意見・質問があれば発言願いたい。</p> <p>特にないようなので、当該案件について了とし、次に進みます。</p>

(4) 待機児童数(4月1日現在)について(報告)【資料6】

発言者	発言内容
会長	待機児童数(4月1日現在)について、事務局からの説明を求める。
事務局	資料6に基づき説明(こども支援課長)
F委員	待機児童が増えたということだが、地区と年齢の構成を教えてください。
事務局	<p>地区については、平地区が0名、小名浜地区が7名、勿来地区が2名、常磐地区が15名、内郷地区が1名、四倉・小川地区が0名で計25名となっている。</p> <p>また、年齢構成は、0歳が5名、1歳が11名、2歳が7名、3歳が2名、4歳及び5歳が0名で計25名となっている。</p>
会長	<p>その他、皆さんの方からご意見等あれば伺いたい。</p> <p>特にないようなので、次に進みたい。</p>

(5) いのちを育む教育推進事業の中間報告について(報告)【資料7】

発言者	発言内容
会長	いのちを育む教育推進事業の中間報告について、事務局からの説明を求める。
事務局	資料7に基づき説明(こども家庭課長)
D委員	自殺については、全体の数が減少している中、10代の自殺が増えていることを踏まえ、いわきの実態(自己肯定感が低いなど)はどうなのかということを含めて検討されているのか。
事務局	自殺の場合、当課のほかにも、様々な機関が関係してくるので、それら機関の取組みについても分析・整理しながら、検討を進めていきたいと考えている。
会長	その他、皆さんの方からご意見等あれば伺いたい。 特にないようなので、次に進みたい。

(6) いわきっ子入学支援(保幼小連携)システムの中間報告について(報告)【資料8】

発言者	発言内容
会長	いわきっ子入学支援(保幼小連携)システムの中間報告について、事務局からの説明を求める。
事務局	資料8に基づき説明(こども家庭課長)
C委員	入学支援シートについて、「保護者によって全員提出と勘違いしているケースがあった」と説明があったが、全員提出することが基本ではないのか。
事務局	入学支援シートの提出は、就学前の保護者の方が入学先に子どもの支援状況を伝えることを希望する場合は提出することとなっている。
I委員	これまでは、幼稚園の卒園生について、小学校との情報交換を3月に行ってきた。紙ベースの入学支援シートを作成し、小学校へ提出する場合、一旦、保護者の方へお戻しするものなので、直接的なことを記入できないこともある。 また、幼稚園からは小学校へ情報を提供することとなっているが、幼稚園に入ってくる子どもの情報提供が無いので、入園する時点での情報提供についても検討していただきたい。

B委員	発達の特徴を早期発見することは重要なことなので、ネウボラの中でも早期発見が出来るよう、取組みを進めていってほしい。
事務局	3月に幼稚園と小学校で情報交換を行っているので、今回の入学支援シートが本当に必要なのかという意見を、関係機関等の連絡協議会の中でも現場の方からいただいている。また、保護者の方にシートを渡すので、直接的な表現が出来ないといった意見もあるが、その子どもが早期発見でどのように一貫した支援が出来るのかという視点から、保護者の理解が重要であり、関係者が役割分担を決めながら、説明をしていくことが必要であると考えている。
E委員	入学支援システムについては、これまで行ってきた幼稚園や保育所の先生とのお話合いや、就学時健康診断で面接した時の保護者の方との話合いとの違いがはっきりしないところもあるが、出産から一本化した支援というところの道筋がこれから出来ていく途中と考えているので、今後、様々な意見が出てくる中で、改善され良いシステムになっていくものと期待している。
会長	その他、皆さんの方からご意見等あれば伺いたい。 特にないようなので、次に進みたい。

(7) 4月1日付けで認可した施設の利用状況について(その他)【資料9】

発言者	発言内容
会長	4月1日付けで認可した施設の利用状況について、事務局からの説明を求める。
事務局	資料9に基づき説明(こどもみらい課長)
会長	その他、皆さんの方からご意見等あれば伺いたい。 意見等がなければ、以上で本日与えられた議事の全てを終了する。 以上をもって、本日の任を解かせていただく。 皆様のご協力ありがとうございました。

以上の議事録が正確であることを証するため、次に署名押印する。

平成 年 月 日

議事録署名人 _____ (印)